

天草信用金庫 SDGs 宣言

経営理念～「共存共栄」

当金庫は、昭和 24 年 4 月の創立以来、地域の中小企業や個人のお客様のための協同組織地域金融機関として、『相互扶助』を基本とし、会員はじめお取引先並びに地域のニーズにお応えすることが社会的使命であると考え、共に助け合い、共に発展していく地域との「共存共栄」を目指しています。

この経営理念である「共存共栄」のもと、SDGsの目指す「持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現」に向け、地域の社会・経済・環境等の諸課題の解決に主体的に取り組み、「持続可能な地域社会の実現」に貢献するため、到達可能な長期目標として3つの経営ビジョンを実践し、「SDGs」に取り組んでまいります。

当金庫の経営ビジョンについて (到達可能な長期目標)

中小企業の発展

地域社会の繁栄

住民生活の向上

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



夢・希望・未来

天草信用金庫

天草信用金庫のSDGsに関する取組み

中小企業の発展

●地域密着型金融の機能強化推進

- ・起業・創業者支援
- ・販路開拓支援
- ・各種ビジネスマッチング
- ・各種助成金、補助金等の情報提供、申請支援
- ・専門機関と連携した事業承継・M&A支援
- ・アマビズ等地域関係機関等との連携による経営課題相談会や各種セミナー等の開催



●パートナーシップ強化

- ・会員並びに総代との連携
- ・地元自治体、商工団体等地域関係機関との連携
- ・全国の信用金庫、信金中央金庫を初め業界関係機関との連携

地域社会の繁栄

●信用金庫の日における社会貢献活動

- ・献血協力
- ・地域の美化奉仕作業

●地域事業・行事への協賛・参加

- ・各地で行われる祭りや行事イベントへの協賛、役職員の参加
- ・営業店フロアでの各種ロビー展の開催
- ・文化財(鈴木三公像)建立場所の提供
- ・観光PR動画の配信を初めとした地域情報の発信

●地域事業所等の社会貢献支援

- ・環境等配慮した融資商品の提供
- ・地域事業所の従業員等の福利厚生を目的とあましん職域サポート制度の提供

●犯罪防止活動

- ・反社会的勢力の排除
- ・マネロン、テロ資金供与等に対する適切な対応
- ・振り込め詐欺の未然防止への対応(高齢者のATM利用制限、注意喚起・啓蒙チラシ配布等)
- ・地域社会福祉ネットワーク事業等への協力、見守り活動の実施



夢・希望・未来

天草信用金庫

住民生活の向上

●個人向けローンの提供

- ・地域事業所の従業員等の福利厚生を目的とした「職域サポートローン」の提供
- ・地域で最も需要が多い「マイカーローン・教育ローン」の特別優遇金利での提供
- ・自然災害等に対応した「災害復旧ローン」の提供
- ・コロナ禍により影響を受けられた方に対する「生活支援ローン」の提供

●環境保全推進活動

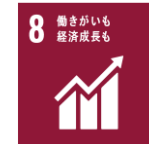
- ・クールビズ・ウォームビズの推進による地球温暖化防止運動
- ・LED照明導入等環境に配慮した店舗づくり
- ・HP活用による規定の電子化によるペーパーレスの推進
- ・社用車の一部にハイブリッド車を導入

●シニア層・障がい者向けの支援活動

- ・年金受給向け各種サービスの充実(相談会の実施、預金金利の優遇、専用ローンの提供、各種イベントの開催)
- ・あましん福祉定期預金の提供
- ・高齢者や障がい者に対応したATMの設置、事務手続きの簡素化

●活力ある地域人材の育成

- ・地域人材育成事業への協力・職員の参加
- ・職員の自己啓発意欲の向上への取組み(資格手当の創設、各種研修会の充実)
- ・育児・介護休業規程等の整備と活用促進
- ・NO残業デー(月2回)の実施
- ・女性職員の渉外・融資担当への積極的登用



～SDGs (持続可能な開発目標) とは～

持続可能な開発目標 (SDGs) とは、2001 年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs) の後継として、2015 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」にて記載された 2030 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17 のゴール・169 のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。SDGs は発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル (普遍的) なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。



夢・希望・未来

天草信用金庫